

木部

公共仕様No.
DNT-改修・9-5-11

7章9節:つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 水性ビルデック艶有(ヤニ止め仕様)

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	水性マイティシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2 JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント	水性ビルデック艶有	F☆☆☆☆	水道水

塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RA種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—			スクレーパー、研磨紙等により、全面除去する。
2 汚れ、付着物除去	—			木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。
3 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			露出素地面、既存塗膜面を研磨する。
4 節止め	JASS 18 M-304	木部下塗り用調合ペイント	合成樹脂	節及びその周囲にはけ塗りを行う。
	JASS 18 M-308	セラックニス類	白ラックニス 1種	
5 穴埋め	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。
6 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			穴埋め乾燥後、全面を平らに研磨する。

- (注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。
2.やに処理の面の処理は、やにを、削り取り又は電気こて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。
3.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。
4.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。
5.JASS 18 M-304及びM-308は、日本建築学会材料規格である。
6.工程4において、JASS 18 M-304は合成樹脂調合ペイント及びつや有り合成樹脂エマルジョンペイントに適用し、それ以外はJASS18 M-308を適用する。

表7.9.2 木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	水性マイティシーラーマルチ	透明なブルークリヤー	—	無希釈	刷毛	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
					ローラー		
2 パテかい	合成樹脂エマルジョンパテ(耐水形)		必要により繰り返し行う。				乾燥後
3 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			清掃後			
4 中塗り	水性ビルデック艶有	各色	—	5～15	刷毛	0.10	3時間以上
				10～20	ローラー		
5 上塗り	水性ビルデック艶有	各色	—	5～15	刷毛	0.10	—
				10～20	ローラー		

- (注) 1.下塗りは、塗料を素地になじませるように塗る。木口部分は、特に丁寧に。
2.下塗りに用いる合成樹脂エマルジョンシーラーは、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

7.2.2 木部の下地調整

木部の下地調整は、表7.2.1により、種別は、特記による。特記がなければRB種とする。

7.9.3 木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表7.9.2により、種別は特記による。特記がなければ、新規に塗る場合はA種(多孔質広葉樹の場合を除く。)、塗替えの場合はB種とする。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。